



arcserve®

リアルタイムにデータを複製

Arcserve® Replication

Arcserve® High Availability

遠隔データ保護・災害対策にお悩みの方へ



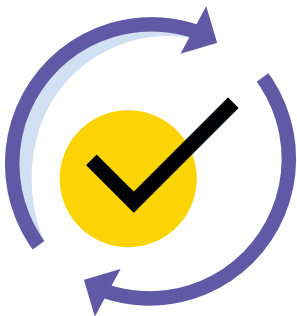
定期的な作業が大変で重要なデータを
バックアップできていない



障害があるとすぐにユーザー部門から
クレームがきて大変



細い回線でも
遠隔地に確実にデータを送りたい



NEW

Windows Server 2019 対応

データ保護・災害対策に なぜ「レプリケーション」が最適なのでしょうか？

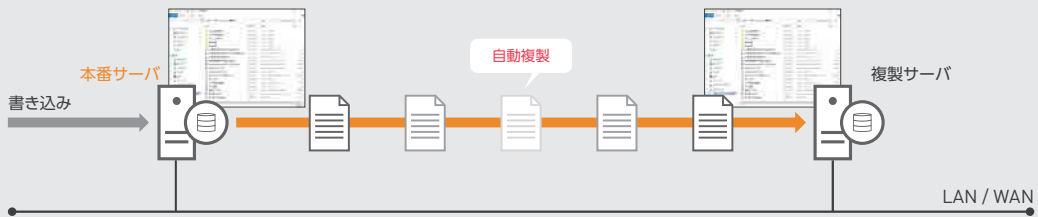
REASON

理由

1

簡単・手軽なレプリケーション。運用管理者の手間がかからない！

レプリケーションとは、稼働中の本番サーバのデータを、ほぼリアルタイムで他のサーバに複製する仕組みのことです。サーバ管理者にとって、レプリケーション最大のメリットは「導入後に手間がかからないこと」。本番サーバのデータに変更があれば、複製サーバにも随時変更がレプリケーションされます。バックアップ媒体を交換するなどの手間は必要なく、いつも通りサーバを使うだけ！さらに既存環境はそのままに導入できるのもメリットです。時間やコストをかけられずにデータ保護が手つかずのサーバに最適なソリューションです。



自動複製
なので簡単、
手間いらず！

REASON

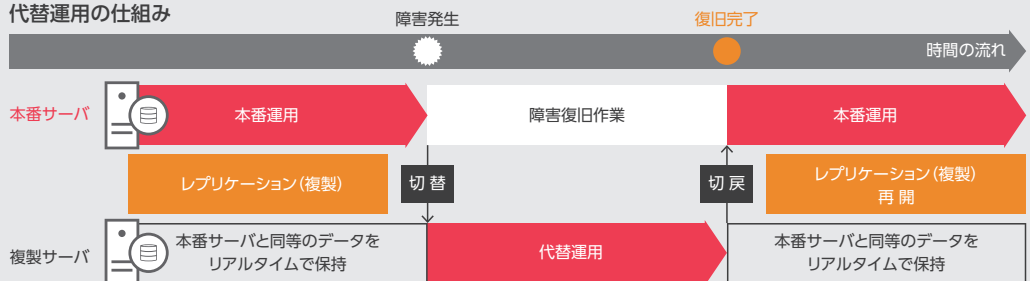
理由

2

万が一障害が発生した場合もユーザの仕事を止めない

万が一本番サーバに障害が発生した場合でも、データの参照先を複製サーバに切り替えるだけで、簡単に代替運用が行えます。本番サーバの復旧が完了すれば、複製サーバから本番サーバへスムーズに切り戻しが行えます。そのため、サーバの修復作業やリストア時間でユーザの業務を止めることがありません。

代替運用の仕組み



ユーザからの
クレーム
知らず！

REASON

理由

3

曜日や時間帯でネットワークの帯域幅を調整して、遠隔地にも安心転送

遠隔地へのデータ保護で最も注意すべきポイントは、拠点間を結ぶ回線です。専用線ではなく、業務でも利用している回線を利用してデータ転送を行うと回線を流れるデータ量が増え、業務で必要なデータの転送にも支障が出てしまいます。運用を止めずに、回線の帯域幅を曜日や時間帯で制限する機能が備わっているので、業務時間中は利用する帯域を制限することでネットワークへの負荷を抑えることができます。詳細は無償実機トレーニングで体験ください。

帯域制御も簡単！

| 曜日 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 日曜日 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 |
| 月曜日 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 |
| 火曜日 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 |
| 水曜日 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 |
| 木曜日 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 |
| 金曜日 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 |
| 土曜日 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 | 1024 |

帯域幅 (Mbps)

56 64 128 192 256 512 1024 1536 2048

4096 8192 16384 32768 65536 131072

帯域帯のスケジュール設定画面

無償実機トレーニング

<http://arcserve.com/jp/jp-resources/seminar/>

レプリケーションの実際の活用イメージ

遠隔地にデータを安全・簡単に転送

「もし洪水でサーバ室に浸水してしまったら…。」「地震でビルが倒壊してしまったら…。」そんな事態に備え遠隔地へのバックアップは欠かせません。Arcserve Replication / High Availabilityなら、LAN に比べて信頼性の低いWAN 回線でも、データを難なく転送可能。遠隔地のサーバに自動でデータを複製できるので、毎週のテープ搬送に比べ災害対策の手間を大きく減らすことができます。さらに、障害時には複製サーバを本番サーバの代わりとして使う事で業務の停止時間を短く抑えられます。

こんなサーバ管理者におすすめ

- ▶ サーバの災害対策は行いたい、徹底的に予算を抑えたい
- ▶ 少なくともデータだけは遠隔地にバックアップしておきたい
- ▶ テープ搬送で災害対策を行っているが、運用コストをさらに抑えたい

| | | | | | |
|------|----|-----|----|--------|----|
| 復旧時間 | 短い | 対災害 | 強い | システム保護 | なし |
|------|----|-----|----|--------|----|



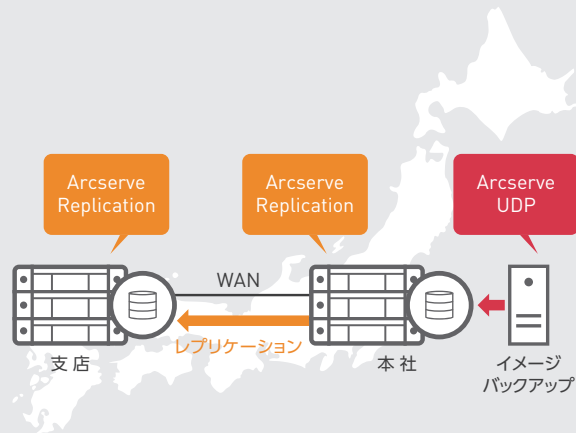
災害発生時でも、遠隔地でシステムを復旧し運用を継続

災害に備えて、システム全体のバックアップデータを遠隔地に保護したい。しかし、バックアップデータを丸ごとWANに流してしまうのはちょっと…。そんな時にはArcserve® Unified Data Protection (UDP) のバックアップデータをArcserve Replicationで災害対策サイトにレプリケーションします。Arcserve UDPでは継続的な増分バックアップを行うため、レプリケーションされるデータ量はわずかです。さらにArcserve Replicationの帯域制御機能や導入前のアセスメント機能など豊富な機能で帯域幅が限られた環境でも安心してご利用いただけます。

こんなサーバ管理者におすすめ

- ▶ システム全体のバックアップデータを遠隔地に保存したい
- ▶ 災害時に遠隔サイトでサーバを復旧したい

| | | | | | |
|------|----|-----|----|--------|----|
| 復旧時間 | 普通 | 対災害 | 強い | システム保護 | 強い |
|------|----|-----|----|--------|----|



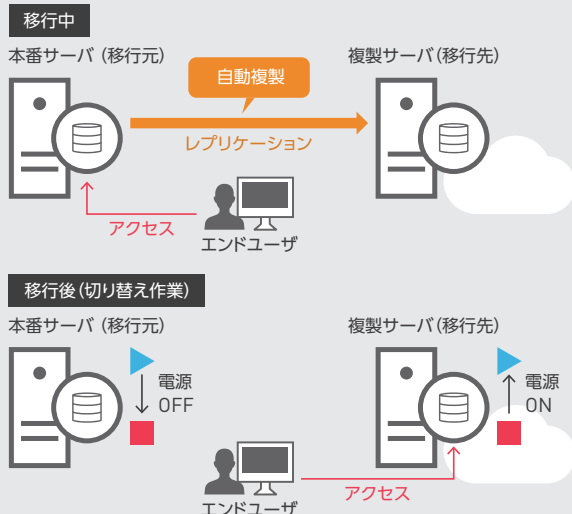
業務を継続したまま移行を実現

システム環境の移行には、多くの工数とコストがかかることが懸念されますが、Arcserve Replication ならファイル/フォルダ、DBなどアプリケーションごとのデータ移行や、OSも含めたシステム全体の移行などを、工数をかけずに簡単に実施できます。移行直前まで移行元サーバを利用できるため、移行による業務中断を最小限にします。切り替えは、移行元の電源を落とし移行先サーバの電源を入れる 単純な作業だけで終了します。移行先として、仮想環境だけでなくクラウドも選択できます。将来のクラウドへの移行計画にも対応ができます。

※対応可能なクラウドについては動作要件を参照ください。

こんなサーバ管理者におすすめ

- ▶ 環境の入れ替えや移行後の環境設定に多くの時間を割きたくない
- ▶ 移行作業時の業務中断をできるだけ短くしたい



レプリケーションの決定版「Arcserve Replication」

使いやすさに徹底してこだわった管理画面

Arcserve Replication/High Availabilityには、レプリケーションの状況がひとめでわかる各種の管理画面が備わっています。すべて日本語化されており、理解しやすい画面によって、管理者にストレスを与えず、スムーズな操作を実現できます。

レプリケーションの状況がひとめでわかる

管理対象がひとめでわかる

処理やエラーなどが一覧で表示される

マスター master

レプリカ replica

レプリケーション

マスター replica

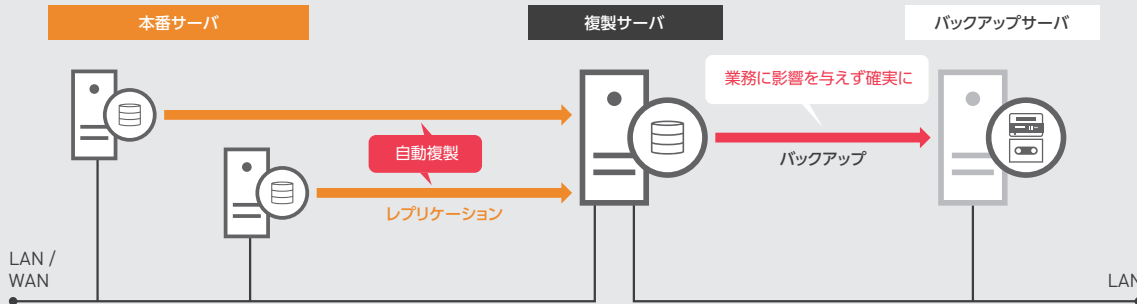
マスターサーバで障害発生。マスターサーバが応答

マスター replica

スウィッチオーバーの進行中

Arcserve® Backupと連携し、業務に影響を与えずバックアップ

Arcserve Replicationは、Arcserveのバックアップソフト、Arcserve Backupと連携する機能が備わっています。複製サーバからテープにバックアップできるので、災害対策拠点へテープを転送する手間を省くことができます。この場合、ユーザは本番サーバでバックアップを行う必要がないので、本番サーバへの負荷も軽減されます。



最適な回線速度を計るアセスメントツールで安心のWAN越え

Arcserve Replication/High AvailabilityではLANに比べて低速で信頼性の低いWANを有効に活用するための数多くの機能を備えています。たとえば、アセスメントモードによって、時間当たりの変更量を測定することができます。この情報からレプリケーションに必要な帯域幅やディスク容量をあらかじめ見積ることができます。

アセスメントモードによる測定データ

時間帯ごとのデータの更新量

トランザクション分析レポート

| | |
|------------|-------------|
| 実効最大転送速度 | 5 MBps |
| 測定時間 | 10分 |
| 10分間の複製転送量 | 375 MB |
| 最大転送データ量 | 1935.687 MB |
| 最長実行時間 | 51.6分 |
| 最長実行回数(連続) | 0.0回 |

データ更新グラフ

グラフ更新

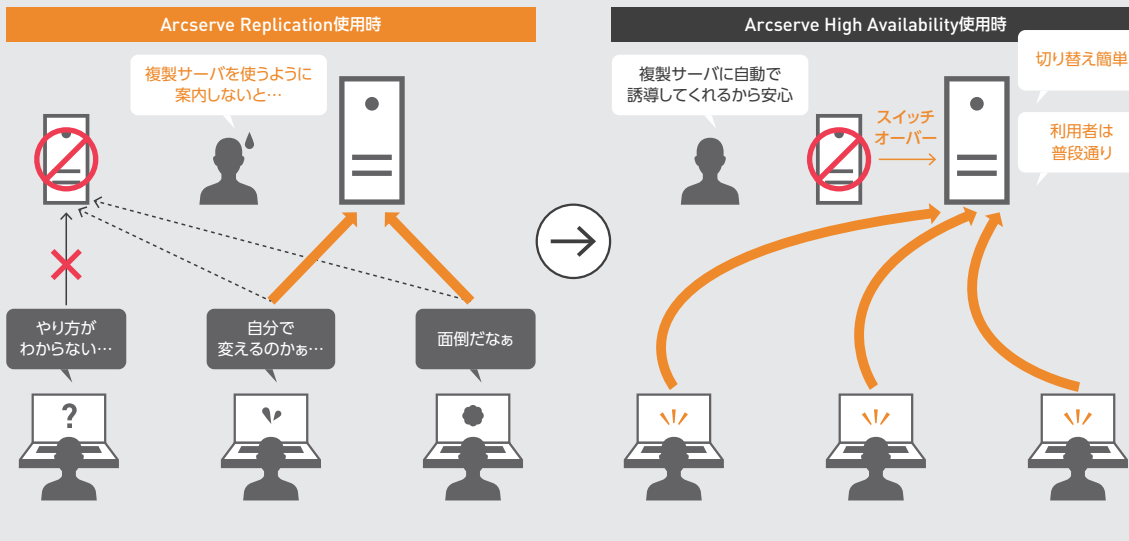
データファイル名: C:\Arcserve\Assessment\AssessmentReport.htm

トランザクション分析レポート

切り替えを自動化する「Arcserve High Availability」

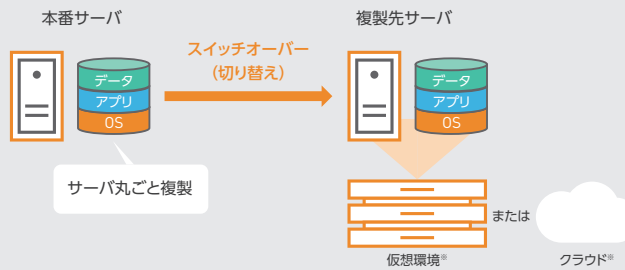
切り替えも簡単に! さらなる可用性を実現する「スイッチオーバー」

Arcserve High Availability には、複製サーバ側で常に本番サーバの状態をモニタリングし、本番サーバでの障害発生時に、自動的に切り替え作業を行う「スイッチオーバー機能」が備わっています。ユーザは複製サーバへ自動的に誘導されるので、障害を意識することなく利用できます。そのため、管理者の手間をかけることなく、実質的な停止時間を最小化できます。



フルシステム シナリオでサーバを丸ごと複製

フルシステム シナリオは、ファイル/フォルダやDBなどアプリケーションのデータだけでなく、OSも含めたシステム全体を丸ごとレプリケーションできるため、OSやアプリケーションなど各種設定をそのまま複製先マシンに引き継ぐことが可能です。また、災害や障害時には複製先の各種設定の変更作業を少なくし、簡単に切り替えて業務をすぐに再開できます。複製先は仮想環境やクラウド*を利用するため、物理環境から仮想環境、オンプレミスからクラウドへの移行にも利用できます。



仮想環境やクラウドへの移行にも利用可能!

*対応可能な環境については動作要件をご覧ください。

まだまだあるArcserve Replication/High Availabilityならではの魅力

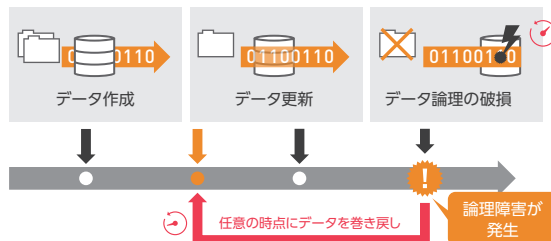
システムを止めることなく、本番しながらに復旧手順を確認できる「Assured Recovery」

稼働しているシステムを止めることなく、複製先サーバで本番ながらの復旧訓練を実施できる「Assured Recovery(アシュアード・リカバリ)」が備わっています。



データベースの復旧に最適な「リワインド・テクノロジー」

データベースなどの障害時に、時間を遡って、障害発生直前の正常データまで巻き戻してからリストアが行える「リワインド・テクノロジー」が備わっています。



構成例

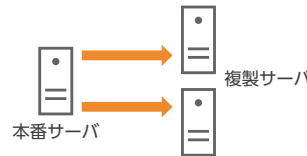
Arcserve Replication でレプリケーションを行う場合、1対1の基本的な構成のほか、本番サーバ1台に対して複数台の複製サーバを用いる構成(1対N)や、複数台の本番サーバに対して複製サーバ1台で対応する構成(N対1)など、柔軟な構成が可能です。さらに、Arcserve High Availability を用いて、自動スイッチオーバーを行う構成も可能です。

1:1 は
もちろん、
N:1
構成も

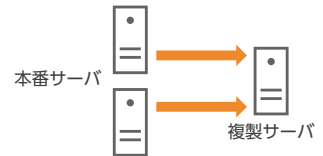
1対1レプリケーション



1対Nレプリケーション



N対1レプリケーション



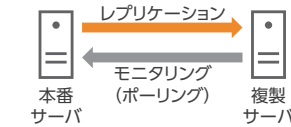
1対1対1レプリケーション



シングルサーバ・レプリケーション

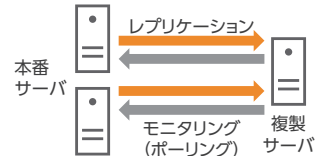


1対1自動スイッチオーバー



※Arcserve High Availabilityを使う構成です

N対1自動スイッチオーバー



※Arcserve High Availabilityを使う構成です

動作要件 詳細は弊社Webをご覧ください。

| 対応OS | 対応アプリケーション |
|---|---|
| Windows Server、Windows Storage Server などに対応 | Exchange Server、Microsoft SQL Server、Internet Information Services (IIS)、Oracle Databaseなどに対応 |

価格

ビジネスの
安心を
お求めやすい
価格で!

| 製品名 | パッケージ製品 ^{*1} (メンテナンス別) | | ライセンスプログラム製品 ^{*2} | | | |
|--|--|-----------|----------------------------|-----------|----------------|-----------|
| | | | ライセンス+1年メンテナンス | | ライセンス+3年メンテナンス | |
| | 価格 (税抜) | 総額 (税込価格) | 価格 (税抜) | 総額 (税込価格) | 価格 (税抜) | 総額 (税込価格) |
| ファイルサーバ専用版 ^{*3} | | | | | | |
| Arcserve Replication for Windows | ¥98,000 | ¥107,800 | ¥117,600 | ¥129,360 | ¥156,800 | ¥172,480 |
| Arcserve High Availability for Windows | - | - | ¥228,000 | ¥250,800 | ¥314,400 | ¥345,840 |
| 標準版 | | | | | | |
| Arcserve Replication for Windows | | | | | | |
| Standard | - | - | ¥198,000 | ¥217,800 | ¥273,000 | ¥300,300 |
| Enterprise | - | - | ¥380,000 | ¥418,000 | ¥524,000 | ¥576,400 |
| Virtual Machines ^{*4} | 1本ライセンス | - | ¥100,000 | ¥110,000 | ¥138,000 | ¥151,800 |
| | 5本パックライセンス | - | ¥300,000 | ¥330,000 | ¥413,800 | ¥455,180 |
| | VM Protection per Host License ^{*5} | - | ¥400,000 | ¥440,000 | ¥551,600 | ¥606,760 |
| Arcserve Replication for Linux Server OS | | | | | | |
| Linux Server OS | - | - | ¥198,000 | ¥217,800 | ¥273,000 | ¥300,300 |
| Virtual Machines ^{*4} | 1本ライセンス | - | ¥100,000 | ¥110,000 | ¥138,000 | ¥151,800 |
| | 5本パックライセンス | - | ¥300,000 | ¥330,000 | ¥413,800 | ¥455,180 |
| Arcserve High Availability for Windows | | | | | | |
| Standard | - | - | ¥398,000 | ¥437,800 | ¥548,800 | ¥603,680 |
| Enterprise | - | - | ¥480,000 | ¥528,000 | ¥662,000 | ¥728,200 |
| Virtual Machines ^{*4} | 1本ライセンス | - | ¥200,000 | ¥220,000 | ¥275,800 | ¥303,380 |
| | 5本パックライセンス | - | ¥600,000 | ¥660,000 | ¥827,400 | ¥910,140 |
| | VM Protection per Host License ^{*5} | - | ¥600,000 | ¥660,000 | ¥827,400 | ¥910,140 |
| Arcserve High Availability for Linux Server OS | | | | | | |
| Linux Server OS | - | - | ¥398,000 | ¥437,800 | ¥548,800 | ¥603,680 |
| Virtual Machines ^{*4} | 1本ライセンス | - | ¥200,000 | ¥220,000 | ¥275,800 | ¥303,380 |
| | 5本パックライセンス | - | ¥600,000 | ¥660,000 | ¥827,400 | ¥910,140 |

※1 テクニカルサポートへお問い合わせいただくには、インシデントパックをご購入ください。テクニカルサポート(チョイスサポートプログラム)の詳細はサポートページでご確認ください。 ※2 新規購入の際、ライセンスおよびメンテナンスの購入が必要です。掲載の価格は、ライセンスと1/3年メンテナンスの合計です。なお、ライセンスプログラム製品のメンテナンスにはメンテナンス期間中の製品アップグレードと、テクニカルサポート(平日9:00-17:30)が含まれています。 ※3 データベースのレプリケーションや無停止テスト機能をご利用いただくには、標準版をご購入ください。 ※4 仮想マシン(ゲストOS)に本製品をインストールする場合に利用するライセンスです。 ※5 仮想ホスト単位のライセンスで、仮想ホスト上の仮想マシンの数に制限はありません。

| | |
|---------------------|---|
| Arcserve ジャパン ダイレクト | TEL:0120-410-116 E-mail:JapanDirect@arcserve.com |
| 製品情報 | https://www.arcserve.com/jp/data-protection-solutions/arcserve-replication-high-availability/ |
| サポート情報 | https://support.arcserve.com/s/?language=ja |
| 30日間無償トライアル | https://www.arcserve.com/jp/free-backup-software-trial/ |
| 無償ハンズオントレーニング | https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/seminar/ |

arcserve®

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。 Copyright © 2021 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Japan

お問い合わせ
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング
お問い合わせ窓口: Arcserveジャパン ダイレクト(0120-410-116)
JapanDirect@arcserve.com

WEBサイト: <https://arcserve.com/jp>

※記載事項は変更になる場合がございます。 2021年4月現在